

## 領域4 インフォーマルミーティング議事録

日時：2024年3月19日（火）18:00-19:00

場所：日本物理学会 2024年春季大会 オンライン開催（書記：野入）

### 出席者（敬称略）

領域代表：村木康二

領域副代表：村上修一

次期領域副代表：柏谷聡

前領域代表：高根美武

運営委員：仲井良太、吉田恒也、野入亮人、平山元昭、西早辰一、張奕勁

次期運営委員：篠崎基矢

次々期運営委員（候補）：蒲江

他

### 1. 報告事項

#### 1-1. プログラム小委員会・領域委員会報告（2023年11月6日（木）10:00-15:00 （Zoomによるオンライン開催））

プログラム小委員会・領域委員会に関して、以下の報告がなされた。

- 計算物理領域の新設について。
- 大会の現地・オンライン交互開催に関して領域3から議題提案があり、結果報告及び意見交換を行った。
  - ・ オンライン開催のメリット、デメリットについて
  - ・ 現在の交互開催は2021年実施の会員アンケートの結果を踏まえての方針のため、当面は現在の交互開催とし、交互開催が定着したところで改めて会員アンケートを実施して今後の運営を決める
- 次期領域代表、領域副代表が以下の通り決定された。
  - 次期領域代表（2024.4-2025.3）：村上修一（東京工業大学）
  - 次期領域副代表（2024.4-2025.3）：柏谷聡（名古屋大学）
- 物性領域では招待講演が6件、企画講演が1件、チュートリアル講演が5件、シンポジウムが11件採択された。領域4が合同領域に加わったシンポジウム・講演等は7件で領域4から提案されたものは1件であった。
- 領域4の概要集提出率は継続的に高いが、前大会より参加者全員に概要集web版を無料で付与しており、概要集の重要性が増していることから、引き続き高い概要集提出率を維持していく必要がある。

## 1-2. 臨時領域委員会 (3/15) 報告 (計算物理領域の試行、物理学会からのサポートレターの発出について)

臨時領域委員会に関して、以下の報告がなされた。(議論した内容については2-6参照)

- 計算物理領域の新設について新領域設定の手順の改定や領域の内容等これまでの経緯と新領域の運営方針についての説明がなされた。
  - ・ 新設にあたり、既存の領域に対し、講演数やプログラム編集等においてデメリットが無いような運営方針とし、最速で2025年9月の年次大会より新領域を試行
  - ・ 詳細は学会webページに掲載
- 物理学会からのサポートレターの発出について。
  - ・ 物理学会ではこれまでサポートレターは出していないが、今後出す可能性を現在検討中であり、来年度中を目途に方針を決めることを目標としている
  - ・ 物理学会が検討しているサポートレターの文案とサポートレター発出を会員に周知するための文案について

## 1-3. 領域4：若手奨励賞について

選考結果、選考プロセス、受賞者数上限等に関して、以下の説明があった。

- 第18回(2024年)の受賞者は以下の通りに決まった。
  - 奥川 亮 氏 (東京理科大学)
  - 安田 憲司 氏 (コーネル大学)
- 審査委員会は、領域代表 村木康二 (NTT)、副代表 村上修一 (東工大)、柏谷聡 (名大)、川村稔 (理研)、越野幹人 (阪大) の5名で、利害関係のある委員は、当該候補者の審査には加わらないというルールのもと審査を行った。
- 応募者は実験が6名、理論が3名の計9名で、その中から上限となる2名を選出した。
- 若手奨励賞受賞者数上限は、過去三回の年次大会における講演の占有率をもう少しあげることで3名になる。来年度は秋に年次大会が開催される予定であり、受賞者数上限は変更無しの可能性が高いが、今後に向けて引き続き積極的な講演を促して欲しい。

## 1-4. 領域4：学生優秀発表賞について

選考結果、選考プロセス、応募者数等に関して、以下の説明があった。

- 2023年秋季大会では、応募者28名に対して以下の3名を選出した。
  - 曾根 和樹 氏 (東大工)
  - 谷内 息吹 氏 (東大理)
  - 吉田 拓暉 氏 (東工大理)
- 講演登録時に応募の意思を示した方に、応募手続きに関する広報(周知メール)を強化したところ、2023年春季大会以降については応募者が増加したものの、まだ2割程度応募を完了しない方がいる。
- 稀にポスター発表で優秀発表賞への応募がある。授賞規則の応募資格には口頭発表を行うものとの記載はあるが、領域HPの目につくところに記載すべきである。→口頭発表をハイライトするとともに、ポスター発表は対象外であることを領域HPに記載した。

## 1-5. AAPPS-JPS Award について

同賞について、以下の報告がなされた。

- 各領域から C.N.Yang 賞に推薦された方を AAPPS-JPS Award 受賞者の候補として選考することが通知された。
- 領域4での過去の推薦候補者の選定方法の確認がなされた。領域代表と副代表で議論して推薦する方を選定する、領域メーリングリストで推薦者を呼び掛けるといった方法が試された。今年の選定方法については領域代表、副代表、次期領域副代表において追加で議論して決める。

## 2. 審議事項

### 2-1. 学生優秀発表賞の応募方法について

現状および今後の応募方法について確認と議論を行った。

- 現状は主に領域代表が応募呼びかけや必要なファイルの準備等多数の作業を行う必要がある。
- 作業簡略化のために今後はDropboxやBox等を活用するのはどうか。
- Boxなどは研究機関によって使えたり使えなかったりするので、領域代表が交代しても永続的に使い続けられるサービスを利用すべきである。
- 採点は領域代表と副代表のみがアクセスできる必要がある。
- 実際の来年度の応募方法については、若手奨励賞の応募方法と合わせて次期領域代表の村上先生が検討し運営委員のメーリングリストで周知・確認する。

### 2-2. 新運営委員の紹介、次期運営委員

次々期運営委員(2024.10 から 1 年)が推薦・紹介され、承認された。現役、次期、次々期運営委員の構成は次の通りとなった。

現役 (2023.4-2024.3)

次期 (2024.4-2025.3)

仲井良太 (九大) [量子ホール] → 大湊友也 (早大高等研) [量子ホール]

吉田恒也 (京大) [トポロジカル] → 大熊信之 (九州工大) [トポロジカル]

野入亮人 (理研) [量子ドット] → 篠崎基矢 (東北大/AIMR) [量子ドット]

現役 (2023.10-2024.9)

次々期 (2024.10-2025.9)

平山元昭 (東大) [半導体] → 小林伸吾(理研) [半導体]

張奕勁 (東大生研) [グラフェン] → 蒲江 (東工大) [グラフェン]

西早辰一 (東工大) [トポロジカル] → 秋葉和人 (岡山大) [トポロジカル]

### 2-3. 運営委員の担当について

次期の業務担当は、以下の通りとすることが承認された。

- 運営委員の連絡責任者：西早辰一 (東工大)
- メーリングリスト・Dropbox 担当：張奕勁 (東大生研)
- インフォーマルミーティング・領域4 HP 担当：平山元昭 (東大)

## 2-4. 2024 年年次大会 (2024.9.16-19) の予定

以下の通りの予定であることが確認された。

- シンポジウム・企画講演等公募 4 月 16 日 ~ 5 月 7 日
- プログラム小委員会・領域委員会 5 月中~下旬
- インフォーマルミーティング申し込み締切 6 月 25 日
- 一般講演申し込み締切 6 月 5 日 (水) 14 時
- プログラム編集会議 6 月 20 日前後 (運営委員は要出席)
- プログラム暫定版 web 公開 7 月 10 日頃予定
- 講演概要集原稿締切 (Web) 7 月 23 日予定
- プログラム掲載 8 月 20 日頃 (マイページにて PDF データ公開)
- 秋季大会 9 月 16 日 (月) ~19 日 (木) (北海道大学・札幌キャンパス)

## 2-5. 招待・企画・チュートリアル・シンポジウム講演

領域4 からの提案の呼びかけが行われた。

## 2-6. 臨時領域委員会 (3/15) 報告について

臨時領域委員会での報告事項に関して、以下の議論が交わされた。

- 計算物理領域の新設について。
  - ・ 計算物理領域新設のためのワーキンググループの設置について、領域4 としては承認することが確認された
- 物理学会からのサポートレターの発出について。
  - ・ サポートレターの発出は会員が意図せず政治利用される危険性があるので、発出条件については慎重に検討すべきとの意見が出た
  - ・ これまではサポートレターの制度は無かったが、実際に物理学会に対して政治的な内容を含む声明を出すようにと依頼された例があった
  - ・ 臨時領域委員会においてはこれらの懸念は出ていなかった

以上